



熊本市 感染症発生動向調査 速報

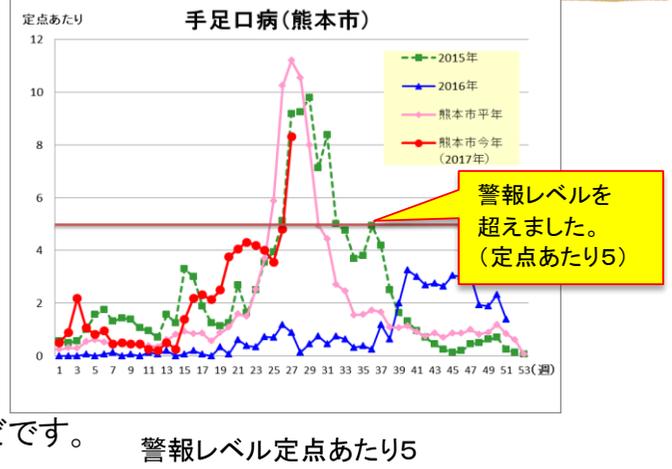
●手足口病が警報レベルを超えました

手足口病が定点あたり8.31と警報レベル(定点あたり5)を大きく超えました。しっかり手洗いをし、感染予防に努めましょう。

手足口病はコクサッキーウイルスをはじめとする、エンテロウイルスの感染によって、口の中や、手足などに小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。発生の9割が、5歳以下の乳幼児です。

◆どんな病気？

- ・症状……口の中、手のひら、指、足の裏などに2～3mmほどの水疱性発疹が出ます。この水疱は、かゆみがなく、痂皮(かさぶた)を作らずに治るのが特徴です。発熱を伴うこともあります。38℃以下の場合がほとんどです。
- ・潜伏期間…3～5日程度
- ・感染経路…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。症状がなくなったあとも、2～4週間は便の中にウイルスが排泄されます。
- ・流行期……夏(7月下旬ごろ)にピークを迎えますが、秋から冬にかけても少し発生がみられます。



◆かかったらどうすればいいの？

- ・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や脳炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、2日以上発熱があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。
- ・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

◆予防法は？

- ・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染している子どものおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。

期 間		平成29年 26週		平成29年 27週	
		6/26～7/2		7/3～7/9(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		7	0.28	16	0.64
RSウイルス感染症		0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		16	1.00	14	0.88
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	3.25	33	2.06
感染性胃腸炎		98	6.13	92	5.75
水痘(みずぼうそう)		10	0.63	3	0.19
手足口病	警報レベル	77	4.81	133	8.31
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	1	0.06
突発性発しん		10	0.63	10	0.63
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	流行中	35	2.19	55	3.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		6	0.38	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		6	1.20	4	0.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		2	0.40	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	3	0.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	2	0.40